

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立西新井小学校 校長 加納 和彦

1 学校教育目標

伸びる子（自分から進んで、より高い所を目指して学び生活する子ども）
 強い子（健康で強い意志をもって、正しいことをする子ども）
 やさしい子（豊かな心で思いやりをもち、誰とでも仲良くする子ども）

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 14,510冊(蔵書基準冊数 10,360冊) / 蔵書率 140.1%(元年度末 151.1%)									
	② 新規購入図書 769冊 / 廃棄図書 276冊 / 増減冊数 493冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.1%	0.9%	5.8%	6.2%	13.6%	4.7%	2.6%	7.3%	2.9%	54.9%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9：15～16：00									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 35.1冊（前々年度末：42.6冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 79.1%（前々年度末：83.7%）									

(令和4年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 15,153冊(蔵書基準冊数 9,960冊) / 蔵書率 152.1%									
	② 新規購入図書 535冊 / 廃棄図書 135冊 / 増減冊数 400冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.2	0.9	5.9	6.2	14.2	5.1	2.8	7.1	2.9	53.7
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9：15～16：00（前年度からの変更あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 35.8冊（前年度末：35.1冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 80.5%（前年度末：79.1%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会を増やす。		① 各クラス月1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。
② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。		② 読書旬間を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。
③ 学校図書館の利用の仕方について、学校図書館支援員に依頼してオリエンテーションを実施する。		③ 図書館支援員が、学級ごとに学校図書館オリエンテーションを実施。
目標達成状況		
① 各クラス、週に一度、授業で学校図書館を利用できた。		
② 年間一人当たりの読書冊数42冊達成。		
③ 5月に図書館支援員によるオリエンテーションを実施。対面で行えない学級は動画による実施。		

第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書する。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝える。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をする。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館のオリエンテーションを動画で実施。
目標達成状況	
① 各クラス、週に一度、授業で学校図書館を利用できた。 ② 年間一人当たりの読書冊数44冊達成。 ③ 4月に図書館支援員によるオリエンテーションを実施。対面で行えない学級は動画による実施。	
第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書ができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が65%以上。 ③ 読書旬間を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。
目標達成状況	
① 各クラス、週に一度授業で学校図書館を利用できた。 ② 調べる学習コンクールに参加した学年児童の割合0.3%と目標を下回った。 ③ 年間一人当たりの読書冊数48冊達成。	
第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、それ以外の本も読書する。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明する。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をする。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が70%以上。 ③ 読書旬間を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。
目標達成状況	
① 各学級、週に一度、授業で学校図書館を利用できた。 ② 調べる学習コンクールに参加した学年児童の割合90%達成。 ③ 年間一人当たりの読書冊数43冊達成。	
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。

今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選んで読書する。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考える。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上。 ③ 年間一人あたり25冊以上の本を読む。

目標達成状況
① 各クラス、月に2回以上授業で学校図書館を利用できた。 ② 調べる学習コンクールに参加した学年児童の割合100%達成。 ③ 年間一人当たりの読書冊数29冊達成。

第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今年度の成果目標	達成基準
① 関連する事柄について、適切な本や新聞等を選んで読書する。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明する。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝える。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が75%以上。 ③ 年間一人あたり25冊以上の本を読む。

目標達成状況
① 各クラス、月に2回以上、授業で学校図書館を利用できた。 ② 調べる学習コンクールに参加した学年児童の割合100%達成。 ③ 年間一人当たりの読書冊数23冊。目標を下回った。

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 既存の寄贈本や新規購入図書を受け入れ、登録作業は3月中に完了させる。 ② 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。 ③ 学習センター機能を充実させるため、社会類、歴史類、自然類の図書を計画的に購入する。	① 既存の寄贈本や新規購入図書を受け入れ、登録作業は2月中に完了した。 ② 既存の図書の分類を見直し、基準に到達できるように計画を立てる。 ③ 社会類、歴史類、自然類の図書を購入したが、蔵書量は達成できていない。引き続き優先して購入する。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 4月に学校図書館オリエンテーションの実施、読書旬間に合わせて読み語りをを行う。 ② 調べ学習に必要な資料等のレファレンス対応を依頼し、学校図書館を活用した学習活動をスムーズに行う。 ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を月に1度行う。	① 年度初めに図書館支援員によるオリエンテーションを実施できた。読書旬間は、各学級と給食放送で読み語りをを行った。その期間、本の貸出冊数を増やすことができた。 ② 調べ学習、図書室に置く資料の相談等を図書館支援員と積極的に連携できた。 ③ 月に一度、業務会議を行い、蔵書の確認や情報交換ができた。

【その他】

① 廊下掲示をしたり、貸出冊数を増やしたりして、読書活動の推進を行う。

・読書旬間に合わせて、おすすめの本の掲示をした。図書館内は月ごとに図書館支援員による掲示をお願いした。児童が本を手にとることが多くなった。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

- ①成果：蔵書の登録や分類の見直しなど、図書館支援員との連携により業務を計画的に行えた。
図書館支援員による読み語り（お昼の校内放送）が講評で、読書好きな子供が増えた。
- ②課題：社会類・歴史類・自然類の図書が基準量に達していないので、R5年度中に達成させる。
- ③改善：コロナが収束に向かっているので、以前のような地域ボランティアによる読み聞かせを再開する。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

本棚の購入を検討する。